

2024/7/20 開催 いけんひろば
～令和6年版こども白書（やさしい版）をつくる上で大切だと思うこと～
いけんのまとめ 対面回

【対面】A班（小学生5名）	2
【対面】B班（中学生3名、高校生1名）	8
【対面】C班（高校生5名）	12
参加者アンケートで貰った意見	16

※小学生が参加したA班の文章には、ふりがなをつけています。

【対面】A班（小学生5名）

1. 「やさしい版こども白書」のコンセプト

○「やさしい版こども白書」と聞いて、どういったものをイメージしますか？

- 「やさしい」という言葉は「（人が）優しい」という言葉をイメージする。そのため、「やさしい版こども白書」は『こども白書』という人が優しいという意味かなと思う。
- 「やさしい版」というから、ほかにも違う「〇〇版」があるのかなと思う。
- 分からない。

○どうしてもときに政府の資料を読んでみようと思いますか？

- 学校の先生が「読んでみましょう」というとき。「時間があるから政府の資料を読んでみよう」とは思わない。
本のように時間があるときに気軽に手に取ってもらえる感じのものではない。
- 政府の資料は難しそうな内容だとイメージしている人が多いと思う。
- 人に勧められたとき。例えば、大人に「これ面白いから読んでみなよ」と言われたら読むと思う。
- 読んだ人や勧められた人が「面白い」と思えば広まっていくと思う。

○小学生や中学生が「やさしい版こども白書」を手にとるとしたら、どういった場面だと思いますか？

- 学校でチラシを配られたら手にとると思う。

- 教科書に載っていて、先生が「今日はこれを音読しましょう」と言ったら手に取って読む。
- 「やさしい版こども白書」を作ったこども家庭庁が「やさしい版こども白書」を広める映像を作り、全国の学校で映像を流したら効率がいいと思う。
- 街中に『やさしい版こども白書』を読もう」というポスターがずらっと並んで、注目度が高かったらとても印象に残るので、手に取ってみたいと思う。
- 広告に載せたら読むと思う。

2. 「やさしい版こども白書」の工夫、しかけ

○ 1. で考えた場面で読んでもらうとき、「やさしい版こども白書」の中身にどんな工夫やしかけがあると良いと思いますか？

- 最後まで読んだら何かがもらえる。
 - ランダムでお菓子もらえる。
- 自分が好きなお菓子もらえる。
 - ゲームのカードもらえる。
- お弁当箱がもらえる。
- 「やさしい版こども白書」を開いたら、本の中が立ち上がって立体になるというしかけ。

○「事前アンケートの結果」を見て、付け加えたいことはありますか？

- （なし）

3. 「やさしい版こども白書」のサンプルを見た感想

○読みやすいと思いましたか？

- 大切なところには色がついているのが見やすい。
- 大切なところは大きい字で書かれているのが見やすい。
- 太く書かれているところも見やすい。
- 漢字が分からない人向けに、漢字の上にふりがながついているから分かりやすい。

○難しい言葉はありましたか？

- 「アントレプレナーシップ教育」「ジェンダーギャップ」など難しい言葉ばかり書いているから小学校低学年には何のことか分からない。聞いたことはあるけれど、意味は分からない。
- 「アントレプレナーシップ教育」に（起業家教育）という説明がついていても分からない。
- 分からない言葉に矢印を引いて、ボックスのなかに言葉の説明を書いたら分かりやすくなる。

○書いてあることをどのくらい理解できましたか？（どのくらいイメージできましたか？）

- （なし）

○改善できそうな箇所はありますか？

- ふりがながついていないところは読みづらい。
- ふりがなをつけないなら全部ひらがなにしてほしい。
- 「やさしい版^{ばん}こども白書^{はくしょ}」のサンプルは、小学校^{しょうがっこう}低学年^{ていがくねん}・中学^{ちゅうがく}年^{ねん}・高学^{こうがく}年^{ねん}、中^{ちゅう}学^{がく}生^{せい}、高^{こう}校^{こう}生^{せい}のいずれに提供^{ていきょう}されるのかによって表現^{ひょうげん}の仕方^{しかた}が変^へわると思^{おも}う。
- 太^{ふと}く書^かいてあるところは線^{せん}を引^ひいた方^{ほう}が良^よい。すで^{すで}に線^{せん}を引^ひいてある箇所^{かしょ}は丸^{まる}で囲^{かこ}むとさら^{さら}に読^よみやすくなると思^{おも}う。
- 色々^{いろいろ}な種^{しゅ}類^{るい}の文^も字^じ（太^{ふと}さ、色^{いろ}）が使^{つか}われている意^い味^みが分^わからなかつた。
- 見^みやすいとこが全^{ぜん}然^{ぜん}ない。文^も字^じだけではな^なく、絵^えを入^いれてくれたら分^わかりやすくなる。
- 写^{しゃ}真^{しん}だけでは意^い味^みが分^わからないから、矢^や印^{いん}を引^ひいて、何^{なん}に關^{かん}する写^{しゃ}真^{しん}なのかを説^せ明^{めい}してほし^しい。
- 「青年^{せいねん}国^{こく}際^{さい}交^{こう}流^{りゅう}事^じ業^{ぎょう}」の横^{よこ}にある「ひらけ、世^せ界^{かい}」とい^いう写^{しゃ}真^{しん}が内^{ない}容^{よう}に關^{かん}係^{けい}あるのか分^わからなかつた。
- 「青年^{せいねん}国^{こく}際^{さい}交^{こう}流^{りゅう}事^じ業^{ぎょう}」のこ^こを詳^{くわ}しく書^かいてある本^{ほん}なのかなと思^{おも}った。
- もしもそうであるなら、本^{ほん}の説^せ明^{めい}が吹^ふき出^だして書^かいてあるともっと分^わかりやす^{やす}い。
- 「た^あくさん遊^{あそ}んで、すくすく成^{せい}長^{ちやう}」とい^いう吹^ふき出^だしが誰^{だれ}に向^むいてい^いるか分^わからなかつた。
- 「た^あくさん遊^{あそ}んで、すくすく成^{せい}長^{ちやう}」は、別^{べつ}の表^{ひょう}現^{げん}にできたらよ^よいと思^{おも}う。た^たとえ^えば「成^{せい}長^{ちやう}で^できるよ^よう大^お人^とがサ^さポー^{ぽー}ト」など^{など}と、サ^さポー^{ぽー}トがあるこ^こが書^かいてあると印^{いん}象^{しやう}に残^{のこ}ってよ^よいと思^{おも}う。

4. もっと詳しく知りたいこと・日ごろの^{かんしん}関心ごと

○白書の内容の中で、もっと詳しく知りたいと思ったり、興味を持ったこと（^わ分かりやすく^{せつめい}説明してほしいと思
ったこと）は何ですか？

- ・ 「^{せいねんこくさいこうりゅうじぎょう}青年国際交流事業」の横にある「^{よこ}ひらけ、^{せかい}世界」という^{しゃしん}写真は何なのか、「^{なん}ジェンダーギャップ」が何なのか
は^わ分かりやすく^{せつめい}説明してほしい。

○白書の内容に限らず、日ごろ^{かんしん}詳しく知りたいと思ってることは何ですか？

- ・ ^{かんじ}漢字の^{かくすう}画数。画数が多い字が気になる。
- ・ あんまり^{かんが}考えたことがない。

○その他：^{ほか}質問など

- ・ 「やさしい^{ばん}版^{はくしよ}こども白書」の^{どくしゃ}読者はどの年代を想定しているか知りたい。
- ・ ^{かていちよう}こども家庭庁）^{どくしゃ}読者は^{しょうちゅうがくせい}小中学生を^{かんが}考えている。高校生は「やさしい^{ばん}版^{はくしよ}こども白書」と「こども白書」のどちら
の^{たいしやう}対象にもなる。
- ・ 「やさしい^{ばん}版^{はくしよ}こども白書」はいつくらいに^{がっこう}学校に^{とど}届くか知りたい。
 - ^{かていちよう}こども家庭庁）^{かんせい}完成は2024年11月を^{ねん}目指している。毎年11月を「^{まいとし}秋の^{がつ}こども^{あき}まんなか^{げっかん}月間」に定
めているのでその^{げっかん}月間に合わせて^{かんせい}完成させる予定。いまのところ、^{がっこう}学校に^{とど}届ける^{よてい}予定はない。読んで

もらえるように作れたら学校に配ることも考えてみたい。

- こども白書が成功したら、顔出しパネルで写真を撮れるようなスポットも作るか。
- こども家庭庁）考えていなかったアイデアだった。とても面白そう。

いじょう
以上

【対面】B 班（中学生 3 名、高校生 1 名）

1. 「やさしい版こども白書」のコンセプト

○「やさしい版こども白書」と聞いて、どういったものをイメージしますか？

- ・ 皆にあまり知られていない。
- ・ こどもについて書いてある。
- ・ 「こどもがこんなことに困っている」ということが書いてある。
- ・ 少子高齢化について書いてあると思った。
- ・ こどもに関する問題、決まりなどが書かれていると思った。
- ・ 難しそう、知らない言葉が出てきそう、
- ・ 長い文章だと読みづらそうだった。
- ・ 政府的なもの。

○「こども白書」を知っていましたか？

- ・ 「こども白書」について聞いたことはなかった。
- ・ いけんひろばに応募するときに初めて聞いた。
- ・ 「子供・若者白書」は知っていた。なぜ「こども白書」に変わったのかが気になる。

○このような政府の資料を読みたいと思いますか？

- ・ 若干読みたいと思う。
- ・ 学校の授業で出てきそう。

○どういうときに政府の資料を読んでもよいと思いますか？

- ・ 一部に漫画を導入することによって、少しでも読んでくれる人が増えると思う。しかし、詳しく知るためにも大部分は文字として残しておくべきだと思う。
- ・ 若者に人気なアーティストや芸能人をアンバサダーとして起用すれば読む人が増えるかもしれない。
- ・ インスタグラムのストーリー等でアーティストや芸能人が「こども白書」について話している動画があれば、実際に読むところまではいかなくても「こども白書」の存在を知ることができる。
- ・ 学校の図書室に置いたほうが良いと思う。
- ・ 図書室に置いたとしても読んでもらえるかは不透明であるため、可能であれば校内放送などで白書が図書室に置いてある旨を紹介したほうが良いと思う。

○小学生や中学生が「やさしい版こども白書」を手にとるとしたら、どういった場面だと思いますか？

- ・ 分割された PDF ファイルは見るのが面倒である。アナログ（紙）のほうにアクセスしやすくすることも含めて、見やすくすると良いと思う。

- 「世代ごとに分ける」という意見があるが、文面を分かりやすくすると情報が少なくなってしまう。例えば、小
学校で配布する場合、よりやさしい内容の資料を配布し、少し詳しく書いてあるものを据え置き版にする
と良いと思う。

○中学生や高校生が「やさしい版子ども白書」を手にとるとしたら、どういった場面だと思いますか？

- 「子ども白書」の内容は、こどもが知らないといけな情報ばかりだと思うが、自発的に「知りたい」とは思わ
ないのではないか。
- 「子ども白書」が置いてあっても手にとろうとは思わない。まずは、子ども白書とは何かを皆に知らせておくこ
とで、気になる人も出てくると思う。

2. 「やさしい版子ども白書」の工夫、しかけ

○1. で考えた場面で読んでもらうとき、「やさしい版子ども白書」の中身にどんな工夫やしかけがあると良
いと思いますか？

- 対策や解決方法が書いてあるが、自分たちにできることを教えてほしい。
- 第2部第1章の「【注目事例④】能登半島地震で被災したこどもの居場所づくり」を読むといいと思う。
大きな関心を集めており、なおかつ多くの人が募金などを行っている地域であり、ボランティア活動なども盛
んであるため参考になると思う。
- 豆知識など、こどもたちが知りたいと思う情報が入っていたほうが良いと思う。
- 上記の意見はもっともだと思うが、そこから「子ども白書」の内容に上手くリンクさせることが難しいかもしれ
ない。

○どこに置いてあったら良いと思いますか？

- 中学校の保健室に歯の病気に関するポスターが貼ってある。そんな風にポスターを貼るという案があると思
う。
- 生徒会室の周りに置くべきであると思う。児童会や生徒会のメンバーならば、より深く読んでもらえるかもし
れない。そうすれば何かしら周りに良い影響が及ぶはず。少しずつ関心のある人から広げていくのが現実
的だと思う。
- 生徒会は政治などに興味がある人が多いので良いと思う。
- 学校の教室などにあれば、読書の時間に何となく手に取ってもらえるかもしれない。
- 本当に困っている人に届けるために、保健室やカウンセリングルームに置くべきだと思う。より緊急的な支
援に関する情報もあわせて届けられると良いと思う。

3. 「やさしい版子ども白書」のサンプルを見た感想

○読みやすいと思いましたか？

- イラストが少なくて分かりづらい。

- 全体的に文章が堅くて教科書みたいだと思った。
- こういった新聞のような文章を読むのは苦手である。
- ギャグを入れるなど、もっと読みやすくしてほしい。
- サンプルの表紙に「児童館における遊びのプログラム開発」と書いてあるが、自分の住む地域では大きな児童施設が閉鎖されてから児童館の存在感が薄れており、児童館に関する追加の説明が必要だと思う。その他のほとんどの内容は小中学生でも理解できる内容だと感じた。
- 全体的に黒く、文章しかない。これを読もうとは思わない。
- 小見出しに下線が引いてあるが、長い資料だと少々読みづらくなると思う。
- 比較的中学生向けだと感じた。
- 小学生が読むには少し難しい可能性があると思う。
- 周りを見る限り問題はなさそうだが、一般的なイメージでは若干難しそう。

○難しい言葉はありましたか？

- 「ジェンダー」は聞いたことはあるが「ジェンダーギャップ」は聞いたことがない。
- 「性的マイノリティ」は聞いたことはあるが、意味は知らない。

○改善できそうな箇所はありますか？

- 紙だと分かりにくく、DVD や動画で見せることができれば良いと思う。
- 漫画などがあったほうが良いと思う。
- イラストや漫画だけでなく専門国際交流事業のポスターのような資料をもう少し大きくしても良いかもしれない。画像を全体的にもう少し大きくできれば良いと思う。
- ジェンダーギャップの解消のところに入っているイラストに絵があるが、そこに結局文字も入っている。絵柄も他のイラストと異なるのが気になる。
- 「こども白書」に付属する説明資料のようなものにも、『こども白書』はこどもたちの意見を聴いて作成されているものです」と書いておいたほうが読む人から信頼されると思う。
- 「ジェンダーギャップの解消」に関しては、もう少しスペースを広げて書くと良いと思う。あまり文字を大きくしすぎると情報量が少なくなり読みにくくなる。

4. もっと詳しく知りたいこと・日ごろの関心ごと

○白書の内容の中で、もっと詳しく知りたいと思ったり、興味を持ったこと（分かりやすく説明してほしいと思ったこと）は何ですか？

- 「【注目事例⑨】ヤングケアラー支援」について知りたいと思った。政府が考えた対策は難しいので学生が考えた対策も書いてあったほうが「みんなこういうことを考えているんだ」と思える。
- 自分の学校では、ヤングケアラーの人に対して自分たちができる支援は何かを考える授業があった。
- 「【特集①】こども大綱」はかなり重要な内容だと思うのでスペースを取って作成すべき。

- 「こどもまんなか社会」については知名度が低いため、別の小冊子があっても良いと思う。
- 「こども若者★いけんぷらす」も知名度が低いと思うので、分かりやすい説明が必要だと考える。

○白書の内容に限らず、日ごろ詳しく知りたいと思っていることは何ですか？

- 少子高齢化で年金がなくなるかもしれないということが気になる。
- 地方では全校生徒数が一桁の学校があると聞いたことがあり、子育てがどうなっていくのかが気になった。
- 過疎地域でのそういった状況を何とか改善できるようにということも紹介できれば何らかの取組につながるかもしれない。

○自分自身や身の回りの人が困っていることはなんですか？

- 大雨で電車やバスが止まった時に親御さんが仕事で学校まで送迎してもらえないと言っていた友人がいた。
- いじめ対策について、こども若者は国に対して期待を持っていないと思う。自殺対策なども成果を期待されているとは考えにくい。
- 少子高齢化対策について分かりやすく説明することが難しそう。

以上

【対面】C 班（高校生 5 名）

1. 「やさしい版子ども白書」のコンセプト

○「やさしい版子ども白書」と聞いて、どういったものをイメージしますか？

- 「白書」という言葉自体、あまりやさしい表現ではない。
- そもそも子ども白書に興味がないとやさしい版でも読まないと思う。
- もっと良いネーミングがある気がする。
- 正直、名前に「やさしい」とついても読もうとは思わない。自ら子ども白書を調べないと触れる機会がないのであれば、読む人はほとんどいないと思う。

○どういうときに政府の資料を読んでもよいと思いますか？

- 学校の授業で政府の資料を読んだことはあるが、それ以外で読んだことはない。
- 夏休みの宿題で調べ学習を課された時に、読んだことがある。
- こども同士で問題を解決したいときに参考にする。
- 弁論大会で内容を考えるときに少し読んだ。
- 「こどもの意見が政策に反映されるのかな？」と疑問に思い、こども家庭庁のことを調べてぶらすメンバーに登録し、メールでお知らせを見てようやく資料を読んだ。そのため、政府の資料にたどり着く人は少ないと思う。

○小学生や中学生が「やさしい版子ども白書」を手にとったら、どういった場面だと思いますか？

- 学校で配られたら読むかもしれない。
- インターネット経由だとたどり着かないと思う。
- 小学生でも見ている SNS などに、リールのように検索しなくとも勝手に流れてきたら見るかもしれない。単に学校で配られるだけでは読まない気がする。

2. 「やさしい版子ども白書」の工夫、しかけ

○「事前アンケートの結果」を見て、付け加えたいことはありますか？

【内容】

- 国が投稿している YouTube 動画はキャラクターなどを使って頑張っている印象を受けるけれど、知りたいことがない／そもそも興味がない人は見ていない気がする。
- 小・中学生が道徳の授業などで見ている教材を参考にと良いかもしれない。
- アニメのキャラクターとコラボするのは良いかもしれない。
- クイズ系 YouTube チャンネルなどの YouTuber とコラボすると良いかもしれない。
- 芸能人などの有名人を起用したら、もっと興味を持ってもらえる気がする。

- 最近、電車内で有名な日本の人気キャラクターがクイズを出題している動画が流れている。キャラクターは不祥事も起こさないのが良い点かと思う。
- アニメのキャラクターを使うのは無難かと思う。
- 普段国が発信しているようなフォーマルな感じではなく、テレビで放送するような雰囲気を出して、面白さを取り入れるのが必要だと思う。小学生に支持されているような YouTuber であれば、サムネイルを含めて良いものを作ってくれる気がする。
- 自分はある男女 2 人組の日本のミュージシャンが好きで、最近流行っていたアニメもこのミュージシャン経由で知った。ミュージシャンがこども白書の曲の作成などをしたら知ってもらえるかもしれない。

【アクセス】

- YouTube で扱われていたら見るかもかもしれない。

3. 「やさしい版こども白書」のサンプルを見た感想

○読みやすいと思いましたか？

○難しい言葉はありましたか？

○書いてあることをどのくらい理解できましたか？（どのくらいイメージできましたか？）

○改善できそうな箇所はありますか？

- 文章量が多いと感じた。
- 正直、こどもは興味がないだろうと思う。
- 難しくならないように具体的な記載を省略した結果、抽象的な記載のみが残っているので、結局こどものために何をしてくれるのかが分からない。具体的に自分たちの周りにどんな変化があるのかが分からない。
- いかにも「報告書」という印象を受けた。
- 自分が読みたい内容が含まれていない。
- 「誰が読むことを想定して作られたのかな？」と疑問に思った。ふりがながあるため、小学校中学年を対象なのではと思ったが、内容が難しいから小学校中学年は読まないと思う。親の世代のうち、「自分のこどもにこういう経験をしてほしい」という思いがある人は読むかもしれない。「国では過去にこういうことをしました」ということが書かれているだけで、未来に向けて何をしようとしているのか書かれておらず、読む気にならない。
- 多彩なキャラクターが内容を説明していたら面白いと思う。「このページにはこのキャラクターがいるけど、あのキャラクターはいつ登場するのかな？」などと思ってページをめくってくれるかもしれない。
- 今は、淡々と実施した内容が記載されているが、会話形式に変更して、読者が質問しているような気持ちになれると読みやすいかもしれない。
- 例えば、「こどもまんなかまちづくり」の場合、具体的に何をしているのか知りたい。特に伝えたい内容を Q&A 形式で載せると良いかもしれない。
- それぞれの事業で何をしていたのかがあまり見えてこない。写真などがないとイメージしづらい。
- さらに詳しいことが書かれているページに誘導できるよう仕掛けがあれば、サンプルのようなページには具体的な記載がなくても良いかもしれない。
- 高校生からするとひらがなが多いと感じる。また、「アントレプレナーシップ（起業家教育）のすすめ」につ

いては、一文が長くて読みづらいので、一文あたり一つの情報が含まれるよう調整してほしい。

- 「こどもまんなかまちづくり」という用語を紹介すること自体は良いが、書かれている内容に具体性がない。「バリアフリー施設などの環境づくりをする」と記載されているが、具体的に何をするのか分からず、イメージが湧かない。「アントレプレナーシップ（起業家教育）のすすめ」についても、「プログラムの開発などを行っています。」と記載されているが、どんなプログラムなのかが分からない。図解するなど、文字以外の表現を駆使していくことが必要かと思う。
- 高校の教科書には、資料が載っていたり、内容の近くに詳細な補足が記載されていたりして分かりやすいので、教科書のように作成すると読みやすくなると思う。
- 全てのページを1ページ目の前半のように作れば、小・中学生にとっても読みやすくなると思う。
- クイズ形式を取り入れるのもひとつの手かと思う。
- 小学校5～6年のときに、SOSダイヤルのカードが配られた。小学生はそういうカードを集めるのが好きなことが多いので、こども白書を小さいカードにして毎月違う内容にして配ると、全て集めたいと思ってもらえるかもしれない。
 - カードにクイズを載せて、それを解いたら答えが分かるとなるとちゃんと読むかも。
 - パズルみたいに紙の裏面が絵の一部になっていて、集めると絵が完成する仕掛けにすると面白いかもしれない。
 - 1年は12カ月あるので、4×3のマスにできる。ただ、出来上がる絵がこども家庭庁のキャラクターだと、「せっかく頑張って集めたのに…」とがっかりするかもしれない。
 - 学校や塾、駅など場所によって配布するカードが異なれば、色々な種類のカード集められて面白いと思う。
 - こども白書の裏面に間違いまちがいさがし探しを追加したら、どの学年でも見るようになるかもしれない。カードを集めるのも良いが、途中でなくしてしまうかもしれないのが気になる。
- かるたやすごろくにするのも良いかもしれない。
- 学校で配られている子育て補助に関するお知らせなどと一緒にこども白書を配ると良いかもしれない。
- 小学1年生と小学6年生では成長度合いに大きな差があるので、学年によって内容を分けるのが良いと思う。また、4コマ漫画で表現するのも良いと思う。紙媒体だと読まない人もいるので、月に1回程度、学校の朝の時間で、アニメなどを起用した動画を見るようにできると良いかもしれない。
 - 例えば、有名な推理漫画のキャラクターが疑問を解決する動画は面白いかもしれない。
- フォントをもう少し派手にしても良いかもしれない。
- もう少し色分けできると良い気がする。
- こども家庭庁が各施策に取り組んでいる背景が見えてこない。
- 小学生と高校生では普段読んでいるものはかなり異なる。小学校低学年にとっては、ですます口調はやや表現が堅いと思う。語りかける言い回しにしたり、絵を増やしたりした方が良い。また、各施策を実施する背景が見えづらいと思ったので、4コマ漫画なども活用しつつ起承転結を明確にできると良いかと思う。また、「アントレプレナーシップ（起業家教育）のすすめ」について、「韓国や東南アジア」と書かれていても、どれくらい遠いのかのイメージは湧きづらいかもしれない。飛行機でどのくらいの時間がかかるのか記載した

り、地図を掲載したりすると良いかもしれない。

- 1 ページあたりの情報が多いと感じる。ページ数は多くなるかもしれないが、1 ページにつき 1 テーマにした方がよい。
- ページのレイアウトは統一し、最後に「この章のまとめ」を設けると読みやすい。
- こども白書を部や章ごとに分ければ、1 つあたりのページ数も多くなりすぎない。
- 「ここは伝えたい」という各章のメッセージを目次に記載し、それぞれが興味を持つ内容に飛べるようにする。
- 1 ページ当たりの情報量が多く、文字で埋め尽くされているという印象を受けた。ページ数の上限がないのであれば、例えば「青年国際交流事業」だけで 1 ページ割いても良いかもしれない。
- 電子媒体でスクロールして読むことを想定したレイアウトにできると良い。
- 登場するキャラクターにストーリー性があると、そのキャラクターの続きを知りたいという気持ちで読み進められると思う。
- 「新しいすべり台が欲しくない？」「アメリカに行ってみたいと思わない？」など、こどもが期待していることやあったらいいなと思っていることを、分野を問わずに記載すると良いかもしれない。そうすれば、読者が何となく持っていた願望が実現されるかもしれないと思い、詳しい内容にも興味を持ってもらえるかもしれない。
- 投票権がなくても、こどもが国を変えられる可能性がある部分について明確に伝えられると良い。
- 「経済的な事情で高校に行けない子が補助を受けるには・・・」など、一人ひとりの状況にあったリンクが掲載されていると良いと思う。
- こどもが保護者に「○○したい！」と希望を伝えた時に、親が実現できるようサポートが必要かと思うので、親の利害を考慮して内容を決められると良い。
- ページごとに、具体的な社会参加機会（イベントなど）の URL があると、実際に行動に移しやすくなると思う。
- 政府が出す情報や開催するイベントは安心できる。
- 保護者のことも考慮して載せる情報を検討することは大切だが、やさしい版のこども白書にはこどもが理解できる内容を掲載し、併せて「詳しくは保護者と相談してみてね」などの案内を載せるのが良いかと思う。また、保護者向けには別の冊子を作成するのが良いかと思う。AI チャットなどで、やりたいこと・知りたいことを入力すると、必要な情報が返ってくるようにできるといいなと思う。

○実際のこども白書（通常版）を見た感想

- 読みやすいと感じた。高校生なら読めそう。
- やさしい版よりこっこのほうが読みやすい。
- 自分にとってプラスになることが書いてあれば読むと思う。ただ、小・中学生は損得勘定では動いていないかもしれない。
- 「こういう行動を起こすと、自分にとってこんないいことがあるよ！」というメリットを伝えられると良いかもしれない。
- 学校の「探究」や「総合」の授業などで、こども家庭庁について調べる時間を設けられると良いと思う。
 - 自分で調べて発表するという一連のプロセスを踏むことで、知識が身につく。

4. もっと詳しく知りたいこと・日ごろの関心ごと

○白書の内容の中で、もっと詳しく知りたいと思ったり、興味を持ったこと（分かりやすく説明してほしいと思ったこと）は何ですか？

○白書の内容に限らず、日ごろ詳しく知りたいと思っていることは何ですか？

- 環境について知りたい。テレビでは、日本各地の池の水を抜きながら、在来生物の保護や生物の検証をしていくバラエティ番組が好きである。
- 自分は地理や歴史に興味がある。
- こどもは様々な分野に興味を持っているから、共通項を見出すのは難しいと思う。

参加者アンケートで貰った意見

○いけんひろは当日に言い足りなかったこと

- もともと「こども・若者白書」だったと思うんですけど「こども白書」に変わった理由を教えていただきたいです！！（が知りたい！！）
- 小、中学生向けって言っても参考資料が少なすぎた感じがします。

以上